

2024年度 通信教育実施計画

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数：2単位
指導目標 書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる気質・能力を育成することを旨とする。				
スクーリング	1単位時間×16回	合格時間数：4時間以上	教科書	東京書籍 書道Ⅰ
レポート	全6通	合格通数：6通	副教材	無し
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書	
4月	書写から書道へ	中学校書写で学習したことの確認として、楷書と楷書に調和する仮名、行書と行書に調和する仮名、配列の基本について学習する。 書道の学習に必要な用具・用材について理解し、丁寧に扱う態度を養う。 基本の姿勢、執筆法、後かたづけについて、目的に合わせて多様な方法があることを理解する。 漢字の成立と変遷について理解する。	前期8回	No.1 No.2 提出	No.1 No.2 提出	
5月	漢字の書「楷書」	楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、練習する。 「九成宮醴泉銘」と「孔子廟堂碑」を比較し、それぞれの文字から受ける印象について考える。 楷書の古典を鑑賞し、その美について理解する。 楷書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。				
6月	漢字の書「行書」	行書の特徴を理解する。 行書の古典の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。				
7月	漢字の書「草書」「隸書」「篆書」	「真草千字文」を鑑賞し、その美について理解する。 「曹全碑」の臨書を通して、隸書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。 「泰山刻石」の臨書を通して、隸書の用筆、運筆、字形の取り方などについて理解する。				
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。				
9月	復習	半期の学習内容の復習				
10月	仮名の書/仮名の成立	仮名の成立と変遷について理解する。 仮名の基本的な線、平仮名の単体の特徴、変体仮名、連綿について理解し、練習する。	後期8回	No.5 No.6 提出	No.5 No.6 提出	
11月	仮名の書「蓬萊切」「高野切第三種」「関戸本古今和歌集」	平安時代の代表的な古筆を臨書する意義について理解する。 古筆を鑑賞し、その美について理解する。 古筆の概要を理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて学び、「表現の特徴」を手がかりとして臨書する。				
12月・1月	漢字仮名交じりの書/篆刻・刻字	古典の特徴を生かしたり、用具・用材の使い方や種類を変えたりすることで表現に変化をつけられることを理解する。 創作の手順に従い、表現の工夫で学んだ技法を生かして、意図に基づいて創作し、相互評価をする。 落款の意味や種類について理解する。 篆刻の作品を鑑賞する。				単位認定試験
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。				